

## 令和5年度 学校関係者評価実施報告書（まとめ用）

学校番号	4	学校名	伊豆伊東高等学校（全日制）	記載者	高嶋 政和
------	---	-----	---------------	-----	-------

本年度の取組（重点目標はゴシック体で記載）

	取組目標	成果目標	自己評価	関係者評価	意見
ア	確かな学力の定着とともに生徒個々の特性に応じた学力の向上 学科、類型ごとの特色化	年2回の到達度テストで、学習到達度が上昇した生徒60%以上【共（1年生）】【旧伊東（2年生）】 基礎力診断テスト2回の比較や経年比較からGTZが向上した生徒50%以上【旧城ヶ崎・商（2年生）】	A	A	高校生の学習は、定期テストをクリアすれば良いものではなく、大学入試や就職試験等、先の目標をしっかりとって取り組む事が大事なので、生徒一人ひとりに、日々の学習への意識を高める活動（振り返りシート等）も重要でしょう。
		1日の平均家庭学習時間が最低1時間以上の生徒割合が各学年80%以上【共】	C	C	中学生の内申と高校の評定平均の扱いの違いなど、1年次の学習時間の確保の重要性などを意識できるようになると良いと感じます。
		「授業がわかる」回答生徒割合75%以上【共】	A	A	参観した限り、集中し楽しそうに授業に臨んでいました。「わかる」→「力がついていると実感できる」ようにレベルアップしたい。 目標値が低いと思われます。結果を見て「授業がわかる」と回答できない約10%の生徒の指導を今後どうするのか課題だと思えます。
		受検実績が1人1回以上【普】 卒業時検定取得2種目以上【商】 放課後等検定補習実施【商】	A	A	資格取得にチャレンジする事は将来にも結びつく取り組みで良い。生徒の選択肢に応じた試験が準備できていれば素晴らしい。
		朝読書の時間設定【共】 一人年3冊以上の読書【共】	B	B	学校として「高校生に読ませたい本」や「教師が推薦する本」など、生徒の関心を高める取り組みを期待する。 短時間でできる速読問題を行い、文章読解の力を付けるのはどうでしょうか？いろいろなジャンルの問題を解けば知識も深まると思えます。
		1月進研模試（国数英）で平均GTZがB1以上（1・2年生）、共通テストと2年2月マーク模試の得点比が2割増の生徒が80%以上（3年生） 「Pコース・特進行事を通して学習意欲が上がった」回答生徒割合90%以上	A	A	成績が上の生徒や向上が著しい生徒に「自分の学び方について」皆に発表する機会を設けるのも一策だと思う。

様式第5号

	取組目標	成果目標	自己評価	関係者評価	意見
ア		「自分の好きなことや強みを理解して、進路を考えている」回答生徒割合 80%以上 「教師が生徒の進路に応じた声掛けをしてくれる」回答生徒割合 80%以上	A	A	声掛けは素晴らしいと思います。学級担任と進路指導担当が連携し「進路の先生に相談してごらん」のような関係が日常的にあると素晴らしい。 進路を考えられない生徒を中心に、企業や大学、短大、専門学校の経験者の説明会を開催して、進路の選択を考えることができると良い。
		全国レベルの大会やコンクール出場 2 件以上【普】	B	B	時々地元の新聞に載るが、取り組みを見て、入学希望者が増加するよう中学生にもアピールしていきたい。
		全国レベルの大会出場 2 件以上【商】	A	A	全国レベルを肌で感じる機会は、多ければ多いほど良いと思います。
		シラバス、指導案の作成、授業内容の検討【普】	A	A	
		シラバス、指導案の作成、授業内容の検討【商】	A	A	
イ	心身ともに健康的な学校生活 他者を理解し、思いやるしなやかな心の育成	「服装を正し、礼儀やマナーをわかまえて行動している」回答生徒割合 90%以上【共】 「地域や近所の人と会うとあいさつをしている」回答生徒割合 80%以上【共】 昇降口指導の実施【共】	A	A	部活動の外部指導員として、毎日のように来校しているが、多くの生徒がしっかりと頭を下げ、挨拶する。特に運動部の生徒は、声を出して挨拶できる。
		保健だより年 12 回発行【共】 薬物講座等年 2 回実施【共】 AED 講習等への生徒参加【共】 朝食摂取率 90%以上【共】 年間欠席日数 10 日以内、遅刻早退については年間合計日数 10 回以内の生徒の割合 90%以上【共】	A	A	朝食摂取率の高さには驚きました。とても良い事だと思います。 「危険薬物」や「スマホ依存」が若年層でも問題になっているので、たより等で啓発していくことは大切だと思う。
		学校生活サポートシートを活用した「生徒情報交換会」学期 1 回【共】 巡回通級等において、配慮を要する生徒に対して SST、アサーショントレーニング月 1 回【共】 「自分を理解し大切にしてくれる友がいる」回答生徒割合 90%以上【共】 「目標を持ち、充実した学校生活を送っている」回答生徒割合 85%以上【共】 「学校に自分の居場所があると感じる」回答生徒割合 80%以上【共】	A	A	普通科、商業科が共に部活や行事を行う学校の特徴を大切にしてほしい。どんな交流が今後可能か必要かを検討していくと良い。

様式第5号

	取組目標	成果目標	自己 評価	関係者 評価	意見
イ		「共生・共育を通じて多様な価値観を受容する大切さがわかったと感じる」回答生徒割合 70%以上【共】	A	A	同じ校舎内に伊豆高原分校があるので、更に交流を深めてほしい。
ウ	キャリア教育の展開による生徒個々の進路実現	進学か就職かを決めている割合 80%以上(1年)【共】 興味のある学問・職種がある生徒の割合 80%以上(1年)【共】 進学の場合の校種や内容、就職の場合の職種を決めている割合 80%以上(2年)【共】 第一志望が確立されている割合 80%以上(3年)【共】	A	A	就職や専門学校について、明確な目標をもっている生徒は、今の学習へのモチベーションを持ちやすいが、漠然と進学を考えている生徒には、キャリア意識と並行して、「今面白いと感じている授業や関心の高い科目」について、学びを深めてあげる事が学校の役目と思う。
		個人面談年間3回以上【共】	B	B	面談という「形」にこだわらなくても良いと思います。すぐ相談できる窓口が常にあるようなスタイルでも良い気がします。 クラスによってバラつきがないように実施できると、より安心できる。担任だけでなく、色々な先生にも相談できる態勢があると良い。
		日本学生支援機構奨学金の情報提供 100%【共】	A	A	
		訪問後に報告書を作成し、進路課、各学年部主任、3年担任との情報共有【商】	A	A	
		上位校の学校推薦型選抜等による合格者数増加【商】	A	A	「上位校」という言葉が気になる。
		「土曜補講受講により学力の伸びを実感したと感じる」回答生徒割合 70%以上【普】	A	A	
エ	探究的な学びの展開 地域・保護者に愛され、信頼される学校づくり	探究委員会の設置【共】 「総合的な探究の時間の取組で地域活性化等自分たちの身近な課題解決に貢献したいと考えるようになった」回答生徒割合 80%以上【共】	B	B	身近な地域などの課題を生徒自身の生活の中で、どれくらい大切なことと感じられるか、とても難しいと感じます。地域と共に成長できる感覚が持てると素晴らしいです。
		県立大学出張講義5回【商】 外郭団体主催事業に参加【商】 伊東市活性化プラン発表【商】 ビジネスプラングランプリに参加【商】 県課題研究発表会に参加【商】	A	A	他の地域や、他の組織、全国等々、伊東というコミュニティに限らず、色々な意見や考えに触れる機会が素晴らしいと思います。
		H P や公式 Twitter 随時更新【共】	A	A	

様式第5号

	取組目標	成果目標	自己評価	関係者評価	意見
エ		1日体験・オープンスクールに「参加してよかった」回答参加者割合80%以上【共】	A	A	オープンスクールは他高校より先にできると良い。
		保護者の緊急メール加入率100%【共】	A	A	
オ	特別活動、部活動の活性化	リーダー研修会の実施【共】	A	A	生徒会の生徒の意識は高いように感じている。他の生徒たちも協力しようとしている。
		「各行事に満足した」回答生徒割合80%以上【共】	A	A	教師も参加していく姿勢が素晴らしい。若い先生方が生徒に勝つことが大事。
		「修学旅行に満足した」回答生徒割合80%以上【共】	A	A	
		部活動加入率100%【共（1年生）】 「部活動に積極的に参加し充実感を得ている」回答生徒割合75%以上【共】	A	A	部活動参観日を特化し、中学生に見させるのはどうだろう。 来年度も部活動の充実を望みます。
		1部活動1貢献活動【共】	A	A	
カ	教職員の資質・能力の育成と協力体制、情報化、業務改善	校内研修年5回以上実【共】 授業見学週間年2回設定【共】	A	A	年配の教師と若手教師間のギャップが生ずる時代なので、それぞれの長所を研修できると良い。
		「ICTや一人一台端末を日常的に活用している」回答教員割合80%以上 「主体的・対話的で深い学びをめざす授業づくりに日常的に取り組んでいる」回答教員割合95%以上【共】 「一人一台端末の活用が有意義だった」回答1、2年生徒割合70%以上【共】	B	B	お忙しいスケジュールと現状の勤務環境の中でとても良い数字だと感じます。 英語の授業で、プロジェクターに写されて文字が小さくて見づらい事がありました。
		「信頼できる先生がいる」回答生徒割合75%以上【共】	A	A	「どんなところが信頼できるの？」という質問項目を設けたらどうか。 目標値が100%になるように設定したらどうか。
		コンプライアンス研修を含めた職員研修を月1回以上実施【共】	A	A	
		教職員の夏季休暇完全取得100%【共】 「平均して週1回以上は定時退庁できた」回答教員割合100%【共】	C	C	いやいや学校に残る教員がいなければ、ある程度はしかたがない。気軽に帰れる空気は大切にしたい。 来年度は目標達成してください。
		「職員室をはじめ新高校が働きやすい環境になるよう留意した」回答教員割合90%【共】	B	B	

様式第5号

	取組目標	成果目標	自己 評価	関係者 評価	意見
キ	安心・安全 で快適な 教育環境 の整備	危機管理マニュアルの浸透【共】 緊急避難経路の確認【共】 定期的な施設設備の安全点検実施【共】 AED講習の実施【共】 校内、学校周辺の危険箇所の確認 学期1回【共】	A	A	登下校中の大地震への対応について、周知することも大切と思う。
		防災教育連絡会議への参加【共】 地域防災訓練参加率 90%以上【共】	C	C	参加努力をしてください。
		全校防災訓練の実施【共】 消火訓練等、教職員向け実践的防災訓練の実施【共】	C	B	県立と市の難しさでしょうか。生徒達からすると県民であります、防災に関しては市民としての感覚が強いのではないのでしょうか。 来年度は実施してください。
		一足制となる新校舎の美化意識を高め、清掃活動を徹底する。【共】 ゴミ分別の推進【共】	A	A	
ク	確実に効果的な学校事務執行	開校初年度における煩雑な業務が想定されるが、情報共有により、影響を最小限にとどめる。【共】	A	A	